

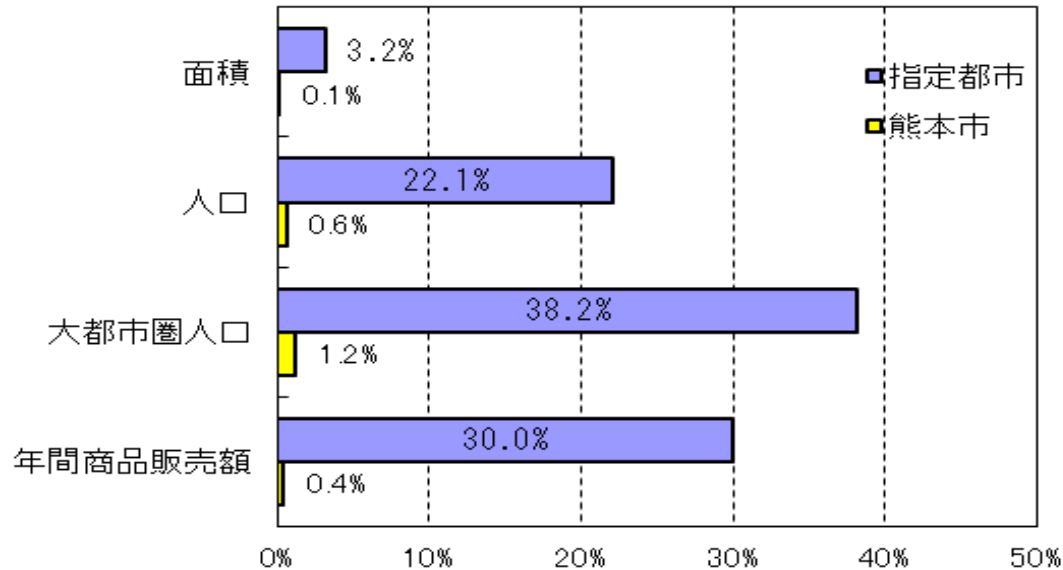
指定都市の特性について

～熊本市との比較～

令和4年（2022年）9月29日
財政局 財務部 財政課

1 大都市の特性 ①集積性・高次性・圏域における中枢性・日本経済牽引の役割(1)

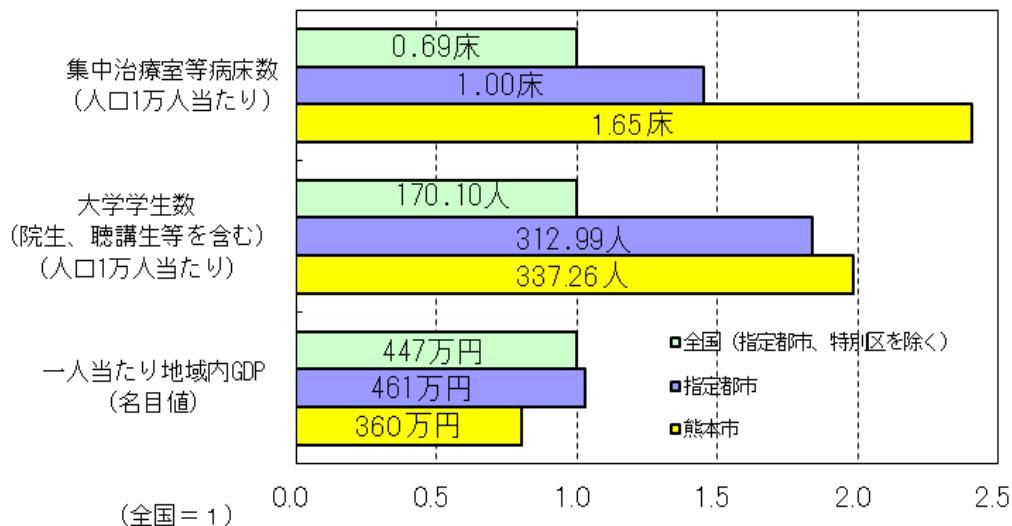
- 熊本市の面積は、国土面積の0.1%に留まるが、人口は0.6%、大都市圏人口（1.5%通勤圏人口）は、1.2%を占めている。
- 一方、年間商品販売額は、0.4%と人口規模に比して低い状況。



出典：国土地理院「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」（令和3年10月時点）、総務省「人口推計」（令和3年10月時点）等
総務省「平成27年国勢調査我が国人口・世帯の概観」（平成27年10月時点）、経済産業省「平成28年経済センサス活動調査」（平成28年6月時点）

1 大都市の特性 ①集積性・高次性・圏域における中枢性・日本経済牽引の役割(2)

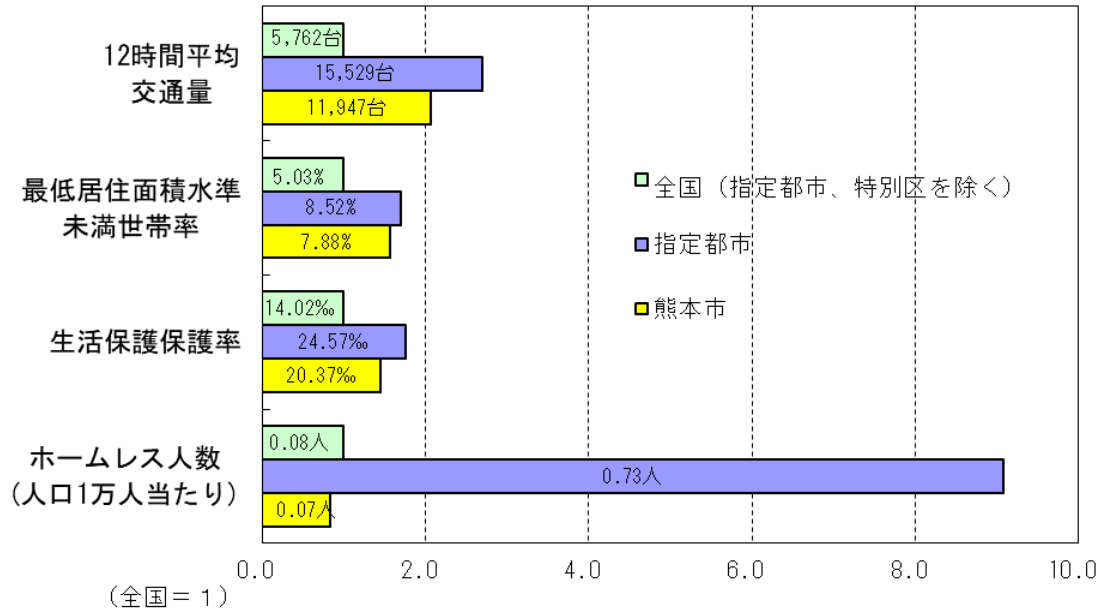
- 集中治療室等病床数、大学学生数は、20指定都市中、それぞれ4番目、7番目となっており、全国平均、指定都市平均を上回っている。
- 地域内GDPは、内閣府が公表している17指定都市と比較すると3番目に低く、全国平均、指定都市平均を下回っている。



出典：厚生労働省「平成17年医療施設調査」(平成17年10月時点)、文部科学省「令和3年学校基本調査」(令和3年5月時点)
内閣府「平成30年度県民経済計算」大都市比較統計年表(令和2年)※相模原市、静岡市、熊本市除く。
熊本県「令和元年度市町村民経済計算」(市町村内総生産)

1 大都市の特性 ②過密・集中による都市的課題

- ホームレス人数は、全国平均及び指定都市平均を下回っているが、その他は全国平均を上回り、指定都市平均を下回っている。
- 12時間平均交通量は、20指定都市中13番目、最低居住面積水準未済世帯率と生活保護保護率は、それぞれ9番目、10番目と中位に位置する一方、ホームレス人数は2番目に少ない。

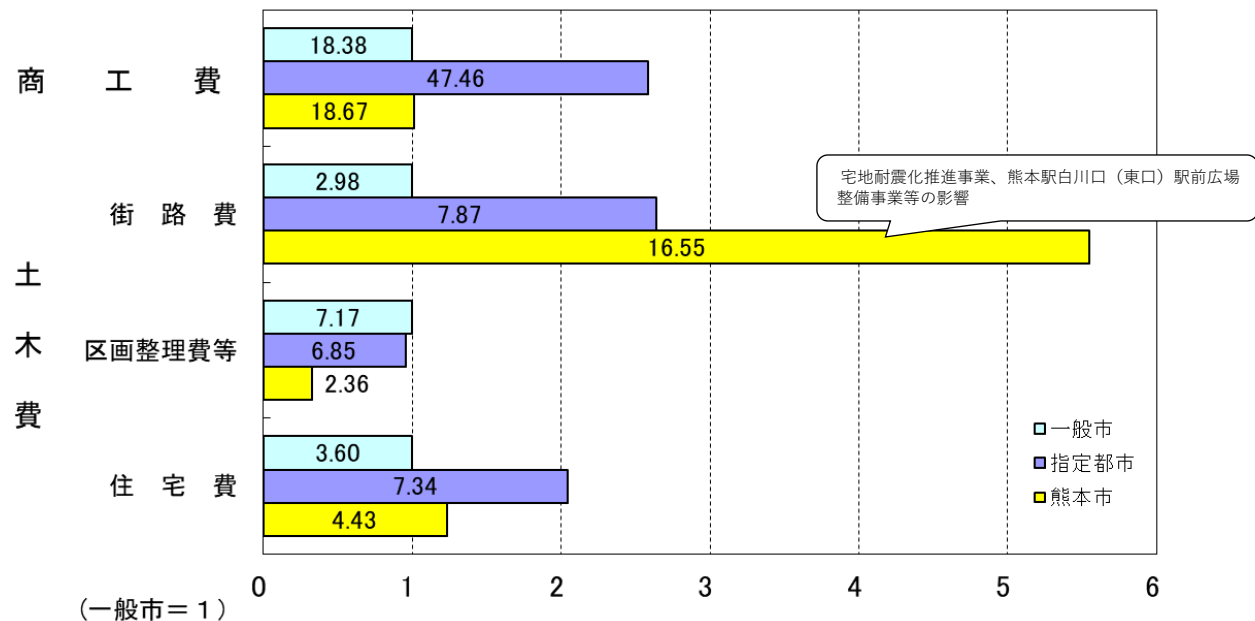


出典：国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査」（平成27年秋季）、総務省統計局「平成30年住宅・土地統計調査」（平成30年10月時点）
厚生労働省「厚生労働統計一覧 2020年度被保護者調査」（令和2年度）、「ホームレスの実態に関する全国調査（概数調査）結果」（令和4年1月時点）

2 大都市特有の財政需要 ①法人需要・インフラ需要(企業活動支援、道路、住宅の整備等)

- 区画整理費等を除き、一般市平均を上回っている。
- 特に街路費は、熊本駅白川口（東口）駅前広場整備事業等の影響により、20指定都市中3番目に大きくなっている（令和2年度）。

【人口一人あたり歳出額 千円】

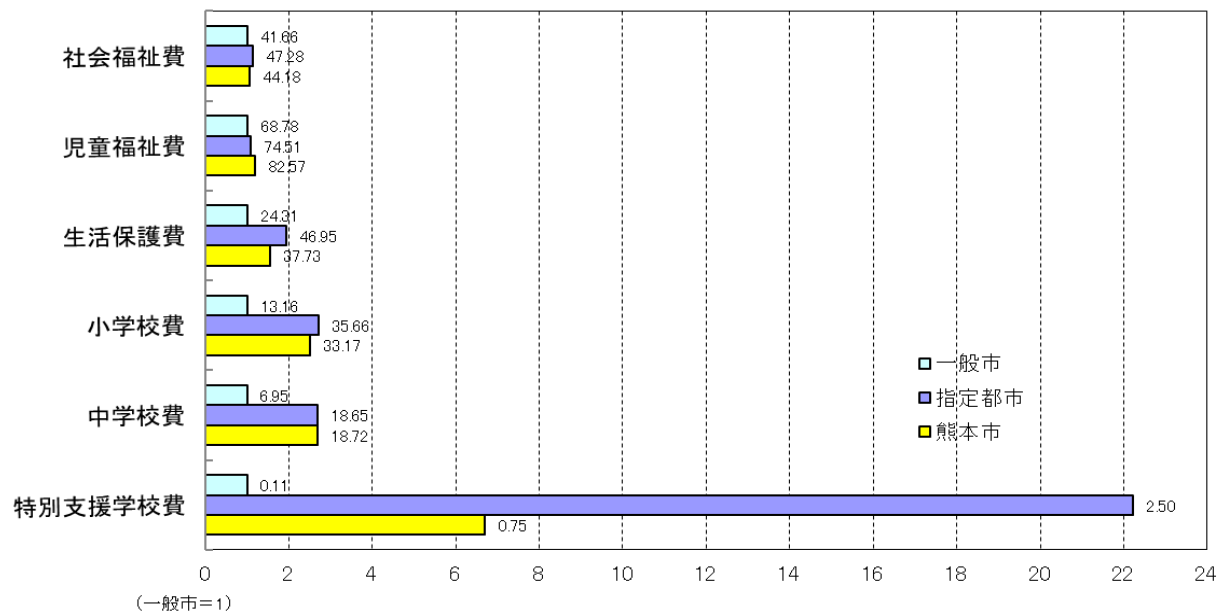


出典：総務省「令和2年度市町村別決算状況調査」（令和2年度決算）

2 大都市特有の財政需要 ②都市的課題から発生する需要(障害者福祉費や保育所関係経費など)

- 社会福祉費、中学校費は、指定都市平均と同程度(20市中、9番目、10番目)だが、生活保護費、小学校費は、指定都市平均を下回っている。(20市中、10番目、13番目)
- 児童福祉費は、指定都市で最も大きい。
- 特別支援学校費は、16指定都市(4都市は未設置)中15番目。

【人口一人あたり歳出額 千円】



出典：総務省「令和2年度市町村別決算状況調」(令和2年度決算)